

全国福祉高等学校長会 主催

令和 7 年度

社会福祉・介護福祉検定 実施要項

全国福祉高等学校長会 資格検定部

社会福祉・介護福祉検定事務局

(徳島県立小松島西高等学校)

Email:komatsushimanishi_hs_3@mt.tokushima-ec.ed.jp

まえがき

日本の高等学校教育において「福祉」が芽生え始めたのは、「平成」という新たな年号が世に示される2～3年ほど前のことでした。その後「平成」のスタートと共に、高等学校における「福祉」教育は、全国で次々と産声を上げてきました。それからわずか四半世紀ほどの間に、想像を超える勢いで日本の高齢化は進み、今日では「福祉」「介護」という言葉を日常生活で耳にしない日が無いほどとなりました。「福祉」教育の重要性は、まるで高齢化に比例するかのように肩を並べてその重みを増してきています。

全国の高等学校で「福祉」を学ぶ多くの生徒達は、これからの高齢化を陰で支えてくれる貴重で力強い人材そのものとなります。彼ら個々の学びのスタイルは幾つかに分かれ違いもありますが、「福祉」を学ぶという根本的な意識と姿勢は、何ら変わるところはありません。彼らの学びに一つの指針を設けることは、より大きな意識の高揚と確かなスキルアップにつながり、ひいては、より多くの優れた人材育成につながるものと考えます。

「社会福祉・介護福祉検定」は、まさに彼らの学びの指針として、平成30年度より1級・2級・3級・4級と体系が整えられ、令和7年度はスタート以来11年目を迎え、進化・発展が続いております。各高等学校におかれましては、本検定の意義・目的を充分ご理解いただき、今回も「福祉」を学ぶより多くの生徒たちへご推奨していただければ幸いです。

全国福祉高等学校長会
理事長 高橋 秀親

目 次

| | | |
|----|---------------|----|
| 1 | 検定概要 | 3 |
| 2 | 今年度のスケジュール | 7 |
| 3 | 検定試験の流れ | 8 |
| 4 | 検定試験当日の留意点 | 9 |
| 5 | 検定試験実施上の留意点 | 10 |
| 6 | 検定試験の実施期間について | 10 |
| 7 | 採点について | 10 |
| 8 | 合格基準 | 10 |
| 9 | 合格について | 10 |
| 10 | 合格証書について | 10 |
| ○ | 検定事務局より | 11 |

1 検定概要

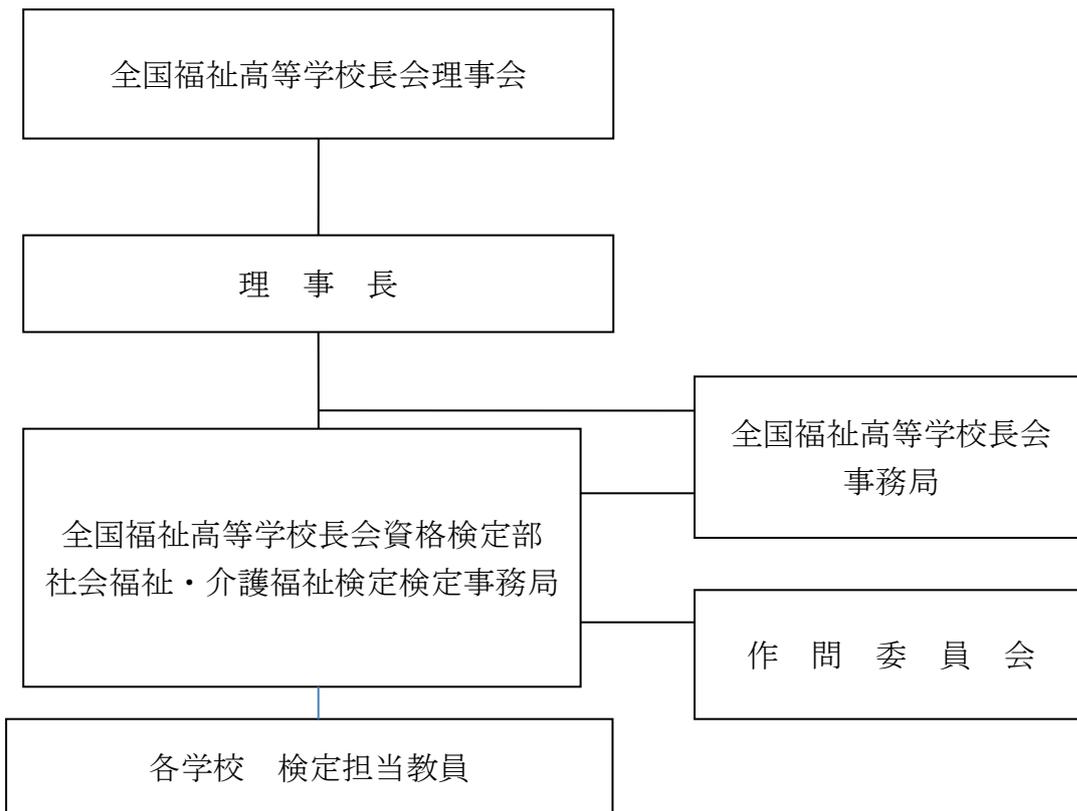
(1) 主催者

全国福祉高等学校長会

(2) 目的

福祉を学ぶ高校生の意識を高め、社会福祉及び介護福祉に関する知識及び技術の向上を図るため、検定を実施する。このことにより、社会福祉及び介護福祉の増進を図る。

(3) 組織



- ・ 作問委員会（問題作成等）における会議は、必要に応じて随時開催する。作問委員は全国福祉高等学校長会各地区理事の推薦によって理事長が委嘱する。
- ・ 社会福祉・介護福祉検定に関する事項は、第1回理事会及び学科主任等代表者会議、全国福祉高等学校長会総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会等の折に必要なに応じて協議する。
- ・ 社会福祉・介護福祉検定の各事項については全国福祉高等学校長会理事会の決定を受け、資格検定部と作問委員（別途委嘱）にて運営を行う。（一部業務委託を行う）

(4) 受験資格

高等学校において、教科「福祉」及びこれと同等の内容を学ぶ生徒であること。
なお、受験者は各自の学びの状況に応じた級から受験することができる。

(5) 各級の概要

| | 4 級 | 3 級 | 2 級 | 1 級 |
|------|---|---|---|--|
| ねらい | 教科「福祉」における科目「社会福祉基礎」及び「介護福祉基礎」の基礎的な学びを確認する。 | 4級の学びを総合的に発展させ、教科「福祉」における科目「社会福祉基礎」および「介護福祉基礎」、「生活支援技術」、「こころとからだの理解」の基礎的・基本的な学びを確認する。 | 3級の学びを総合的に発展させ、教科「福祉」における科目「社会福祉基礎」および「介護福祉基礎」、「生活支援技術」、「こころとからだの理解」、「コミュニケーション技術」、「介護過程」の基礎的・基本的、専門的な学びを確認する。 | 2級の学びを総合的に発展させ、教科「福祉」における専門的な学びを確認する。 |
| 出題範囲 | 教科書履修内容 ①社会福祉基礎(25) ②介護福祉基礎(25) | 教科書履修内容 ①社会福祉基礎(20) ②介護福祉基礎(20) ③生活支援技術(20) ④こころとからだの理解(20) (介護職員初任者研修の程度に準ずる) | 教科書履修内容 ①社会福祉基礎(15) ②介護福祉基礎(15) ③生活支援技術(20) ④こころとからだの理解(20) ⑤コミュニケーション技術(15) ⑥介護過程(15) (介護福祉士実務者研修の程度に準ずる) | 教科書履修内容 【前半】 ①人間の尊厳と自立(2) ②介護の基本(10) ③社会の理解(12) ④人間関係とコミュニケーション(4) ⑤コミュニケーション技術(6) ⑥生活支援技術(26) <小計60> 【後半】 ⑦こころとからだのしくみ(12) ⑧発達と老化の理解(8) ⑨認知症の理解(10) ⑩障害の理解(10) ⑪医療的ケア(5) <小計45> ⑫介護過程(8) ⑬総合問題(12) <小計20> 《合計 125》 (介護福祉士国家試験の程度に準ずる) |
| 検定料 | 1,000円 | 1,500円 | 2,000円 | 2,500円 |
| 問題数 | 二者択一 50問 | 二者択一 80問 | 三者択一 100問 | 五者択一 125問 |
| 時間 | 50分 | 50分 | 80分 | 220分 (前半105分・後半115分) |
| 検定委員 | 各学校の教科「福祉」担当教員もしくは関係教科の教員 | | | |
| 検定会場 | 各学校 | | | |

(6) 出題基準

【4級】

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書（実教出版）から二者択一方式で出題する。

○社会福祉基礎 25問程度

○介護福祉基礎 25問程度

計50問

【3級】

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」の教科書（実教出版）から二者択一方式で出題する。

○社会福祉基礎 20問程度

○介護福祉基礎 20問程度

○生活支援技術 20問程度

○こころとからだの理解 20問程度

計80問

【2級】

「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」「コミュニケーション技術」「介護過程」の教科書（実教出版）から三者択一方式で出題する。

○社会福祉基礎 15問程度

○介護福祉基礎 15問程度

○生活支援技術 20問程度

○こころとからだの理解 20問程度

○コミュニケーション技術 15問程度

○介護過程 15問程度

計100問

【1級】

介護福祉士国家試験を受験する高等学校における3年間の学びを確認するものであり、介護福祉士国家試験と同等の内容（医療的ケアを含む）から五者択一方式で出題する。

<前半>

| | |
|-----------------|-------|
| ①人間の尊厳と自立 | 2問程度 |
| ②介護の基本 | 10問程度 |
| ③社会の理解 | 12問程度 |
| ④人間関係とコミュニケーション | 4問程度 |
| ⑤コミュニケーション技術 | 6問程度 |
| ⑥生活支援技術 | 26問程度 |

<後半>

| | |
|--------------|-------|
| ⑦こころとからだのしくみ | 12問程度 |
| ⑧発達と老化の理解 | 8問程度 |
| ⑨認知症の理解 | 10問程度 |
| ⑩障害の理解 | 10問程度 |
| ⑪医療的ケア | 5問程度 |
| ⑫介護過程 | 8問程度 |
| ⑬総合問題 | 12問程度 |

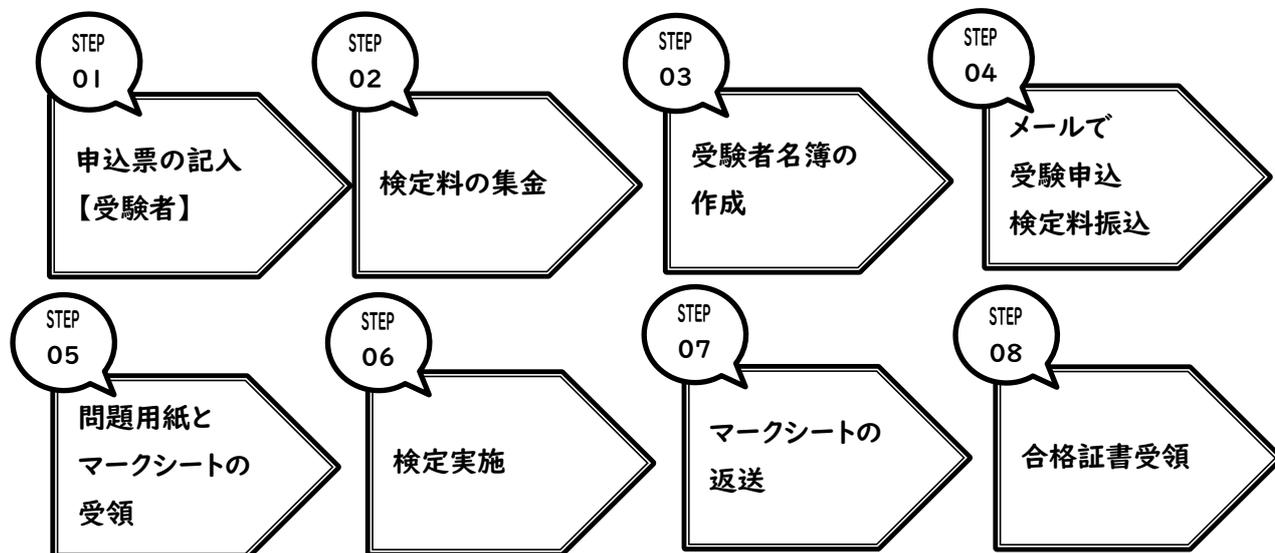
計 125 問

2 今年度のスケジュール（「3 検定試験の流れ」と合わせて御確認ください）

| | 日程 | 各学校 | 事務局へ | 備考 |
|-----|----------------------------|--|---|--|
| 9月 | [実施要項公開] 8日（月） | <ul style="list-style-type: none"> ・実施要項の確認 （ダウンロード） ・検定試験の周知 ・様式（Excel ファイル） のダウンロード | | <ul style="list-style-type: none"> ・全国福祉高等学校 長会の<u>ホームページ</u> から<u>ダウンロード</u> する。 |
| 9月 | [申込期間] 8日（月） ～30日（火） | <p>【STEP 01】 申込票の記入</p> <p>【STEP 02】 検定料の集金</p> <p>【STEP 03】 受験者名簿の作成</p> <p>【STEP 04】 メールで受験申込及び 検定料の振込</p> | 振込・申込期限 9月30日（火） | |
| 10月 | [問題一式発送] 3週目 | 【STEP 05】 受験票兼領収証、問題 用紙等受領 | 10月22日（水）までに 届かない場合は事務局ま でお問い合わせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・受験票兼領収証、 問題、解答用マー クシート、返送用 レターパックが 受験校へ届きま す。 |
| 11月 | [検定実施] 2日（日） ～16日（日） | <p>【STEP 06】 検定実施</p> <p>【STEP 07】 マークシート返送</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・27日（木）に解 答を電子データ で通知する（ホー ムページにも掲 載予定）。 |
| 12月 | [合格証書送付] | 【STEP 08】 検定結果（個人用帳 票）、合格証書受領 | | <ul style="list-style-type: none"> ・合格発表日及び合 格証書授与日は 各学校に一任す る。 |

3 検定試験の流れ

全国福祉高等学校長会のホームページから実施要項および各種様式（Excel ファイル）をダウンロードしてから【STEP 01】にお進みください。ホームページからダウンロードできない場合は、検定本部事務局まで御連絡ください（表紙に記載のメールアドレス）。



【STEP 01】

受験希望者は、申込票（様式1）の必要事項を記入し検定担当教員に提出する。

【STEP 02】

受験希望者は、検定料を添えて申込票（様式1）を提出する。

※領収書は、後日、受験票と合わせて検定事務局より送付されます。

【STEP 03】

検定担当教員は、「受験者名簿」（様式2）を作成する。

※P.12「申込書記入マニュアル」を参照ください。

【STEP 04】

検定担当教員は、【9月8日（月）～30日（火）】の期間にメールにて受験申込を行う。

（必ず検定料の振込後に申し込んでください）

集金した検定料を速やかに検定本部事務局の指定口座に振り込む。

【振込期限：令和7年9月30日（火）】

※振込が遅れる場合はその旨をご連絡ください。

※メール送信後、5日以内（土日祝を除く）に受付確認のメールが届かない場合は、恐れ入りますが検定事務局までご連絡をお願いします。

【申込先メールアドレス】

fukushi-kentei@koko-fukushi.org

| | | |
|-----|------|---|
| 振込先 | 銀行名 | 青森みちのく銀行 |
| | 支店名 | 青森中央営業部（店番：014） |
| | 種類 | 普通預金 |
| | 口座番号 | 2686104 |
| | 口座名 | 全国福祉高等学校長会主催 社会福祉・介護福祉検定 理事長 高橋秀親 |
| | フリガナ | ゼンコクフクシコウトウガッコウチョウカイシュサイ シャカイフクシ・ カイゴフクシケンテイ リジチョウ タカハシ ヒデチカ |

お願い 振込依頼人名を「学校番号＋学校名」にしてお振込み下さい。
振込手数料は各校での負担となります。

【STEP 05】

10月中旬（第3週を予定）に問題用紙と解答用紙（マークシート）、名簿を受領する。
10月22日（水）までに届かない場合は、検定本部事務局宛に連絡をお願いします。

【STEP 06】

各学校で設定した期日【11月2日（日）～16日（日）】に検定を実施する。

【STEP 07】

実施後、マークシートをレターパックにて速やかに返送する。

【返送期日：令和7年11月23日（日）】

【STEP 08】

12月中旬、結果（学校用帳票・個人用帳票）と合格証書の受領、生徒への配布

4 検定試験当日の留意点

- （1）検定会場には試験内容に関する掲示等は一切しない。
- （2）検定担当教員は受験者を検定会場に受験番号順に着席させる。
- （3）受験票を机上の統一した位置に置かせる。
- （4）検定担当教員は問題用紙及び解答用紙を配付する。
- （5）「はじめてください」の合図で試験を開始する。
- （6）検定担当教員は試験内容に関する質問に答えてはならない。
- （7）「終わりにしてください」の合図で試験を終了する。（級によって試験時間が異なることに留意する）

5 検定試験実施上の留意点

- (1) 複数の級の検定試験を実施する学校は、2日以上に分けて実施することができる。
ただし、1つの級を2日以上に分けて実施することはできない（1級を除く）。
- (2) 1級試験は、前半（105分）と後半（115分）の間に休憩時間を設けることができる。
又、前半と後半を2日に分けて実施することができる。
- (3) 試験中に地震等やむを得ない理由で試験を一時中断する事態が生じた時は、検定担当教員が判断して対処する。中断した場合にはその時間を計り、検定時間に上乗せする（例：4級試験で5分の中断→中断時間を加えた55分で試験を実施する）。
- (4) 欠席者等に対する追試験は行わない。

6 検定試験の実施期間について

全国一斉の期間に厳正に行う。やむを得ない事由で実施期間を変更する場合には、事前に検定事務局と協議する。

7 採点について

各校で検定実施後、マークシートをレターパックにて期日までに返送する。

※各校での採点は必要ありません。

8 合格基準

| | | | |
|----|---------------------|------|-------|
| 1級 | 5択 125問（医療的ケアを含む） | 6割程度 | 75点以上 |
| 2級 | 3択 100問（医療的ケアを含まない） | 7割程度 | 70点以上 |
| 3級 | 2択 80問 | 7割程度 | 56点以上 |
| 4級 | 2択 50問 | 7割程度 | 35点以上 |

9 合格について

得点が合格基準に達したものを合格とする。

10 合格証書について

受験者には検定結果（個人用帳票）と合格証書（合格者のみ）が発行される。

